

2022年 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	有限会社あおぞら	代表者	西田 裕	法人・事業所の特徴	「本人が望まれる限り、在宅での生活を続けていけるように支援をする」「介護者の負担を軽減することで、心穏やかな生活をご家族と共に過ごしていただきたい」「この人の生き方に寄り添って、一緒に楽しい人生を過ごしてもらう」を理念に、利用者一人一人の人権を尊重し、その人がその人らしく家庭的な環境の下で、地域の方とも交流を図り、本人の意向、趣味、娯楽を受け入れたサービスを提供致します。
事業所名	小規模多機能あおぞら	管理者	服部 慎也		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	0人	4人	1人	0人	1人	0人	3人	0人	9人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	人員確保とサービスの向上に務め、利用者登録数の20人以上を維持することを目指す。	必要な人員確保のため、広告での募集、人材派遣で確保を行った。利用者の長期の利用により登録者数は20人以上を維持できた。	コロナ禍で厳しい状況でも人を確保し、利用者に認められるサービスを行えたことで目標が達成できたと思います。	職場環境改善に務め、離職率を下げる。
B. 事業所のしつらえ・環境	感染対策に留意し、衛生的な環境を整え、相談しやすい場所として知ってもらうよう務める。	感染対策マニュアルに沿って事業所内の環境整備を行った。立て看板を事業所の前に出して、相談窓口があることを掲示した。	新型コロナ感染者が出ているが事業所内での感染は確認されず、感染対策が十分に効果があると認められる。	感染予防に務め、職場内感染を広げない。
C. 事業所と地域のかかわり	地域のイベントや防災訓練に参加できるよう取り組む。	まだ参加できる地域イベントや防災訓練が無かったため、感染症対策に取り組み続けた。	そろそろイベントも開催されるようになるので、そこに参加して欲しい。	あおぞらで行事を催し、地域の方に参加していただけるように取り組む。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	近隣の方への挨拶や配慮をしっかりと行う。多職種連携に務め、情報交換を密に行う。	医療機関との連携に務め、利用者について情報交換を行い、入退院時に適切なサービスの提供を行えたと思われる。	地域の医療との連携ができていて素晴らしいと思います。	利用者の自宅近隣の方とも交流を行い、連携しやすいようコミュニケーションを図る。
E. 運営推進会議を活かした取組み	地域の方の介護の困りごとを会議でも取り扱うので、十分な情報収集を行う。	包括からの相談があり、サービスを開始する事例がありました。	また必要なときに地域の方のことで相談させてもらいたい。	地域イベントの情報交換を行い、また地域の方の介護の相談窓口になれるよう務める。
F. 事業所の防災・災害対策	防災計画に沿って対応できるよう訓練に務める。町内の防災計画にも参加する。	定期的に防災訓練を実施。地域の防災訓練の再開を待つ。	福祉避難所としての役割に期待しています。	防災計画に沿って対応できるよう訓練に務める。地域の防災計画にも参加する。